



松原かわら版

世帯数 1,295戸
人口 2,958人
高齢化率 30.1%
(令和7年10月1日現在)

文化祭・ひろばまつり

松原地区 10/25



（編集委員）

第14回松原地区文化祭・福祉ひろば祭りが、開催されました。今回、松原地区町会連合会連携企画も同時開催されました。地区公民館には、展示作品・喫茶・健康コーナーの他、中学生が企画・運営した子ども工作会・教室・輪投げ・bingoゲーム会の実施、屋外では、大人気の綿あめ・ポップコーンの他、きのこ汁・フリーマーケット・まつばら謎解きウォーキングなど幅広い年齢の方々が多数ご参加を頂き、相互交流を深め活気あふぎ、楽しいお祭りになりました。



中学生が自分たちで考えたコーナーで文化祭を盛り上げてくれました！

参加者の声（アンケートより）

- 種々の展示があり、楽しく見学ができました。
- プレバトにも負けない作品がいっぱい！
- 展示品が皆素晴らしいです。養護学校、ろう学校の子どもさん達の作品が可愛くてほのぼのしました。
- きのこ汁も美味しくて、皆様の一生懸命の作品に触れ良かった。何かやろうと意欲がわきました。
- bingoも健康診断も楽しかったです。
- 文化祭などを開くことで地域が盛り上がるの良いと思った。



町会の
できごと
【第7町会】

第7町会



「ブルーベリー・とうもろこし」の収穫体験

第7町会では町内公民館振興業務の一環として、「親子で野外活動」を行っています。今年は内田當農さんにご協力いただき、小学生を対象に農業体験を実施しました。7月19日に「ブルーベリー・とうもろこし収穫体験」で、2日共に大勢の親子が参加してくれました。

ブルーベリー・とうもろこし収穫体験では、松本平を一望できる農園で、収穫を取り楽しんだり、また大型トラクターの試乗など、普段なかなかできない貴重な体験ができました。とうもろこし収穫体験では、あいにくの雨模様でしたが、内田馬場屋敷近くの農園で、お子さんたちはとうもろこしをたくさん収穫しました。

今回は青空の下、広い農園で果物や野菜に実際に触れ収穫する体験がで、参加されたお子さんやご家族もとても楽しそうでした。

(第7町会長 藤松 秀樹)

災害時、人も物資もすぐに来ないため日頃からの自分で自分の命を守る準備が大事であること、非常用持出袋と備蓄品についての説明がありました。また、普段使いの缶詰やレトルト食品などを多めに準備し順次使いながら買足しする備蓄方法や、割れたガラスを踏んでも足が傷つかないスリッパが販売されることなど紹介いただきました。

(編集委員)



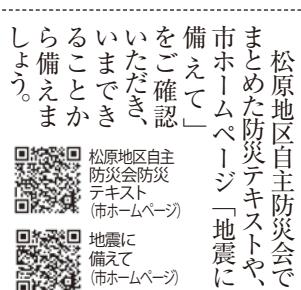
▲第3回目(9/23)



▲第2回目(9/6)



▲第1回目(8/23)



市ホームページ「地震に備えて」
松原地区自主防災会でまとめた防災テキストや、
いまだに備えています。
QRコード
松原地区自主防災会防災テキスト
(市ホームページ)
QRコード
地震に備えて
(市ホームページ)

上高地散策 9/2

ら、河童橋から岳沢湿原までゴミを拾う環境美化活動をしました。ゴミ拾いと言つても探さなければ見つけられないほどゴミは落ちていませんでした。



た。

ちょっとした坂道が多い梓川右岸コースを明神池まで約4キロ、梓川の清流を眺めながら散策し、明神池界隈で各自がそれぞれの場所で、お弁当を美味しくいただきました。

下界では猛暑だ、残暑だとは言つても、上高地は散策には丁度良い天候となりました。到着後、五千尺ホテル上高地からお弁当を受取り、上高地ビジターセンターの加藤さんにガイドをいただきながら

お弁当を美味しくいただきました。帰りは比較的平坦な左岸コースで4キロ先の河童橋を目指し、着いた頃には少し汗ばみ疲れもありましたが、疲れた身体を清々しい空気と心地よい風、清流が癒してくれました。



人間の大規模な水利用やダム建設、地下水の灌漑などによって、地球上の水の分布が変化し、地球の自転軸が移動していることが確認されている。この地軸の角度変化はごく小さなもののかも。

人間の活動が地球規模の物理現象に影響を与えるという事実は、環境への負荷の大きさを示している。足元の地面の傾き、気にしてみても良いのかも。

人間の大規模な水利用やダム建設、地下水の灌漑などによって、地球上の水の分布が変化し、地球の自転軸が移動していることが確認されている。この地軸の角度変化はごく小さなもののかも。

(編集委員)